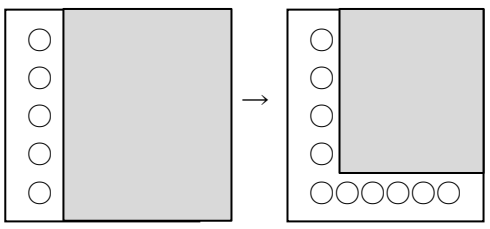
資料⑥　（2)授業記録と分析　　第２学年　題目「九九を使って工夫して求めよう」　　２０１７．１１．２９(水)

	教師		子ども	子どもの様子　その要因　□改善策
	前時のふり返り 昨日一番はかせはなんだったかな。 問題を書きます。 チョコレートは全部で何個あるでしょうか		１ぺん作戦。	▲自力解決に於いて、新しい作戦に気づく子が少なかった 本時では、既習で使えそうな考え方(作戦)があるか＋新しい考え方(作戦)があるかなど、考え方の見通しを持たせた。 見通しで、新しい作戦がありそうだということに触れることで、そこへ目を向ける子が出ることをねらったが、新しい作戦に気づく子が少なかった。 新しい作戦を考えることを本時の課題に位置付けた先行授業も行ってみたが、全員が考えることが難しく、一部の子のみの活動の授業となってしまったため、本時の流しとしたが。
3 既習との違い捉え	今日はどんなチョコレートかな。 図を提示 この図を見て何か気づいたことないですか？ ６個少ない？ 全部埋まっていないんだね。昨日は、縦も横も全部埋まってた。今日は、埋まってない。何で埋まってないんだろう？	C C	つぶやき えー！なんか違う。何かわけられる！ チョコレートが６個少ない。 チョコレートが全部ない。	《要因》 本時の並び方の特徴(既習との違い)の捉えさせ方が不十分であった。 欠けている部分や全体の箱の枠に着目させることが十分にできなかった。
	今、何の勉強してるのかな？ 九九が使えそう？		かけ算。 使える！	
見通し　～使える考え方～	どんな作戦が使えそう？ 分けたす作戦使えそうなんやな。 一ぺん作戦は使えそう？ 使える？ 一ぺん作戦は？にしとこうか。 まとまり作戦は？ 大丈夫そう？ まとまり作戦も？にしとこう。 他に何か新しい作戦。どう？ありそう？ ありそう？	C C みんな	分けたす作戦です。 一ぺん作戦です。 うん。つかえる。使えない。首をかしげる子も。 無理！大丈夫！ 一時、しーん。 ありそう！ ない！答えは分かったけど。	□課題設定の仕方 既習事項との違い＋見通し＝課題 本時のねらいに関わる考えのずれがおきる課題を生み出すための・・・ **問題提示や見通しの持たせ方** **＜問題提示の仕方＞** 既習の並び方との違いを捉えやすくし、本時のねらいに焦点化させる問題や図の提示の仕方 □指導主事より提案の問題提示の仕方 チョコを少しずつ見せることで、縦や横の数や全体の数(３０個あるはず)をイメージさせることができるとともに、欠けている部分に全員の目を向けさせることができる。また、数を求めたいという追究意欲を喚起させることもできる。 もっと子どものつぶやきが出る問題提示の工夫をし、そのつぶやきを拾うことで既習との違いや本時のねらいに焦点化していく。 「何か違うってどういうこと？」 「全部うまってない」  「どこの数が知りたい？」「　横」「３０や！」 **＜見通し＞** 答え・考え方・方法の見通しを持たせる 考え方＝「使える考え方はないかな」 数学的な見方・考え方を養う 方法＝「どうやって考えるかな」 図を使って考える！
子どもと共に課題設定	今日は、みんなで何考える？何考えたい？ 新しい作戦？ どの作戦が使えるか考えていこうか。ここが全部埋まっていないとき、どんな作戦があるか、みんなで考えてみようか？これでいい？	C	新しい作戦。 どの作戦が一番早くできるか。 どの作戦が使えるか。 うん	
9	課題です。ノートに書こうか。 吹き出し書くね。 全部うまっていない時 九九を使えるには、どんな作戦ができるかな。 課題を一緒に読みましょう。		課題をノートに書く。	
13 考えの書かせ方～式と図	まとまり、分け足す。一ぺん。ほかの新しい作戦できるかな。ワークシート配るよ。 式と答え書いてもらうけど、何でその式になったのか、その答えになるのかわけをかいて、○で囲んだりして分かりやすいように書いて。時間は５分です。どうぞ。 １つ考えた人は、２つ目。３つ目を考えていいよ。 たくさん考えた人は、どれを友だちに伝えたいか、いいと思うものを赤で丸をつけよう。		自力解決（５分間）　ワークシート	○子どもが言えなくても、一旦子どもに考えさせることは大切。何を考えるかを主体的に考えられる子へ。